



やまちゃん通信

～第58号～
2022年 5月

■■■この「やまちゃん通信」は、私と何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■■

◆やっと暖かくなりました！！◆

いつも大変お世話になっております。本年も宜しくお願い致します。

山翠園代表の山本昌利です。やまちゃん通信第58号をお送りいたします。諸事情により3月号はお休みさせていただきました。突然ですが、テレビ番組の「開かずの金庫を開ける」という企画を皆さんご存知ですか？少し前にたまたま番組を見ていた時に、私も開かずの金庫を思い出しました。30年くらい前の話と思いますが与謝野町のあるお客様から仕事を廃業するから庭の植木を見てほしいとご依頼がありました。当時は松などの和風樹木がどんどん流通していた時期でもありすぐに見に行きました。樹木はすごく立派でしたがあまりにも大きすぎて又立地条件が悪く移植は不可能とお答えしました。自宅も解体されるということで「いいものがあつたら持って帰っていいよ」と言われたので見せていただきました。自宅に入ると隅の方にその番組で開けるような古い金庫がありました。扉は空きましたがかなり重くて普通の床の上には絶対に置けない品物でした。すぐにクレーン車を準備して頂いて帰りました。

こんな立派な商売をされていた方の持ち物だからきっと良い事があるだろうと夢を持っていたのですが重すぎて倉庫の中にしか置けませんでした。現在もそのままです。私は骨董にはあまり興味がないのですが(骨董といえるかどうかわかりませんが)2つだけ買ったこと



↑今も倉庫に残っている金庫

があります。数年前植木市場に行った時通路の横で色々販売しておられました。

その中に、2つだけなぜか気になった商品がありました。扇の置物と「来る人みな福の神」と書かれた掛物です。なぜかその絵の顔が気になりました。前を通るたびに呼ばれているような気になり微笑んで見えるようになったんです。植木を仕入れに来てるので「競り市が終わって見に行ったら残っていたら買おう！！」と決めました。競り市が終わり見に行くと片付けをされていました。店主に2つの商品は残っているか聞くと、「このことか？」と言ってまた出してくれました。



↑扇の置物



↑来る人みな福の神の掛物

なんと2つとも残ってました。2つとも購入し扇は自宅に！掛物は会社にかけてました。

今も掛物の笑顔を見ると何故か心が安らぎます。買って良かったと思える品物でした。

◆JaPanBrandoCollection22！！◆

究極の住まい造りBEST100！！全国版に弊社が紹介されました。



↑来る人みな福の神の掛物にかかっている絵

※コロナの為おすすめコーナーは中止します。

◆発行者コラム◆

最後までお読みいただき、有難うございます！

新展示場が全て完成いたしました。

最後まで残っていましたサンルーム・ガーデンルームは比較していただけるよう3台並べて設置しました！！

コロナが終息し、皆様と感謝祭ができる日を楽しみに待っています。

山本昌利



■やまちゃん通信ご不要の方は、お手数ですがお名前を書いてそのままFAXして頂くか、お電話にてお申し付けください。

【発行者プロフィール】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNO. 1を目指す社長

山本 昌利 (やまもと まさとし)

◆生年月日：昭和33年3月24日生まれ ◆出身地：京丹后市大宮町

◆趣味：国内で食べ物がおいしいところへの旅行(主に熊本、長野)

◆家族構成：妻、娘3人 ◆好きな食べ物：地鶏、魚、たまご焼き

【発行元】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNO. 1を目指します！(株)山翠園

〒629-2502 京都府京丹后市大宮町河辺3715-1

TEL:0772-68-0707 (8:00~17:00) FAX:0772-68-0821



山本昌利